

小学校第5学年 道徳科 学習構想案（例）

時間 令和〇年 〇月 〇日（〇）第〇校時
 場所 5年〇組教室
 指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	目標と希望をもって（内容項目A(5)希望と勇気、努力と強い意志）	
ねらいと教材	(1)ねらい 清記の灯籠作りへの熱い思いや信念を通して、より高い目標に向かって困難に負けずに努力していこうとする心情を育てる。 (2)教材名 たった一基のほう納灯ろう 出典：「熊本の心 小学校5・6年(熊本県教育委員会)」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	清記の目標をもって進んでいく姿や、どんな時も灯籠作りをやめなかった強い意志と信念を、多面的・多角的に考えている。	これまで自分が頑張ってきたことに気づき、次の目標に向かって努力しようという思いを高めている。
目指す児童の姿		
興味をもったことに対して、自分で目標をもち、困難を乗り越えて努力を続けていく松本清記の生き方を通して、自分の生き方に目を向け、次の目標に向かって努力していこうとする児童		
主題に迫る学習課題（本時）	本主題で働かせる見方・考え方	
夢や目標に向かって努力を続けていくためには、どうしたらよいのだろう。	清記が、灯籠作りに興味をもち、次の目標に向かっていく姿や戦時中でも灯籠を作り続けた姿について考えたり、友達と話し合ったりすることを通して、自分の今の目標に気づき、努力していこうと考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
国語科	道徳科	図工科
「きいて、きいて、きいてみよう」 ○自分の思いや考えを話したり、友達の話を受け入れたりしながら、友達を尊重する姿勢を大切にする。	「ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ」 A(5) 希望と勇気、努力と強い意志 「ベートーベン」 A(5) 希望と勇気、努力と強い意志 「たった一基のほう納灯ろう」 A(5) 希望と勇気、努力と強い意志 主題名 目標と希望をもって 灯籠を作り続けた松本清記の姿について話し合ったり、これまでの自分の頑張りをふり返ったりする活動を通して、これからの自分の目標をもち、努力していこうとする心情を育てる。	「心のもよう」 ○お互いの見方を交流することで、互いの感じ方や見方の違いやよさに気づき、認め合う。 ○制作活動を通して、見よう見まねで作ることの難しさを感じる。
社会科		外国語活動
○熊本県の伝統工芸品にふれ、受け継ぐことの大切さや、後継者不足、中には途絶えているものもあるということを知る。		「Can you play dodge ball?」 ○自分ができることや得意なことを紹介する。 「Who is your hero?」 ○自分の憧れの人を紹介する。
特別活動		帰りの会
「キャリアパスポート」 ○自分の目標を決め、自身の変容や成長を振り返り、学習や生活の意欲につなげる。 「当番・係活動」 ○友達と話し合い協力してよりよい活動をする。		「今日のきらり」 ○学級の友達の良いところや頑張りを伝え合い、認め合う。

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所(ねらいや指導内容についての教師の捉え方)		
<p>本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目A(5)「より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと」を基に設定したものである。</p> <p>児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力することができるようにすることが重要であると考え。</p>		
本主題における系統		
<p>小学校第1学年及び第2学年 内容項目A(5)希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。 教材名「朝よみ 夕よみ」 主題名「向上心」</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年 内容項目A(5)希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くこと。 教材名「かけ足登校」 主題名「不とう不屈」</p>	<p>小学校第5学年及び第6学年 内容項目A(5)希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。 教材名「たった一基のほう納灯ろう」 主題名「目標と希望をもって」</p>
児童の実態(児童の学習状況や実態と教師の願い)		
<p>本学級の児童数 ※省略</p> <p>■主題に関する意識の状況</p> <p>(1) 将来の夢や、こうなりたいという目標がありますか。 「ある」… 人 「ない」… 人 「わからない」… 人</p> <p>(2) 「ある」人は、それは、どんなことですか。</p> <p>(3) あなたは、今、その夢や目標に向かって、努力していますか。 「努力している」… 人 「努力していない」… 人</p> <p>(4) 「努力している」人は、それは、どんなことですか。</p> <p>(5) 「努力していない」人は、それは、なぜですか。</p> <p>(6) あなたは、これまでに、何かをあきらめずに頑張ってよかったなと思ったことはありますか。 「ある」… 人 「ない」… 人</p> <p>(7) 「ある」人は、それは、どんなことですか。</p> <p>(8) あなたは、これまでに、何かをあきらめてしまったことやくじけてしまったことはありますか。 「ある」… 人 「ない」… 人</p> <p>(9) 「ある」人は、それは、どんなことですか。</p> <p>(10) 目標に向かって、努力を続けることは、むずかしいと思いますか。 「むずかしいと思う」… 人 「むずかしいとは思わない」… 人</p> <p>■考察</p> <p>本学級の児童は、</p>		

教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）

教材「たった一基のほう納灯ろう」は、清記が、灯籠作りに興味をもち、次の目標に向かっていく姿や戦時中でも灯籠をつくり続けた姿について多面的・多角的に考えることを通して、自分の今の目標に気づき、努力していこうという思いを高めていくことができる教材である。

本教材を活用した授業においては、どんな状況でも必死に灯籠を作り続けた清記の信念について話し合ったり、今の灯籠師からのメッセージを聞いたりする活動を通して、児童の多様な価値観を引き出しながら、自分のこれからの目標をもち、努力していこうとする心情を育てていきたい。

3 指導に当たっての留意点

【教材の効果的な活用】

- 授業の導入場面では、松本清記の写真、灯籠の写真を提示し、教材への興味関心を高めたい。

【思考・表現の手立ての工夫】

- 板書に合わせたワークシートにまとめることで、松本清記さんが困難を乗り越えていった強い思いや、自分の目標に向かって努力を続けるために大事なことを考えることができるようにしたい。
- 中心発問「清記さんは、様々な困難を、なぜ乗り越えることができたのだろう」では、対話ツールを活用し、友達と交流することを通して考えを深める時間を十分に確保したい。

【多様な感じ方や考え方と出会い、交流できる場の充実】

- 「でも、だってトーク」を取り入れ、清記さんの思いをより深く引き出せるようにする。
- 意図的指名、補助発問、切り返しの発問等で価値理解や人間理解に迫ることができるようにしたい。
- 終末では、松本清記さんについて考えたことや今の灯籠師さんのインタビュー、自分たちのこれまでの頑張りが伝わる写真を基に、これからも自分の目標や夢をもち、努力を続けていこうという気持ちをもてるようにしたい。

【励まし、伸ばす評価の工夫】

- これまでの学校行事等での頑張りの写真を見せ、自分自身の変化や達成感を感じさせることで、努力することの良さに気づき、児童が自信を付け、自己肯定感を高め、次の目標や夢に向かって頑張ろうという思いをもつことができるようにしたい。
- 終末で事前のアンケート結果に再び触れることで、考えの深まりや自分たちの変容に気付くことができるようにしたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

灯籠を作り続けた松本清記の姿について話し合ったりこれまでの自分の頑張りをふり返ったりする活動を通して、これからの自分の目標をもち、努力していこうとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>①みなさんに事前にとったアンケート結果です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標はありますか。 ・夢や目標に向かって努力していますか。 ・努力を続けることは難しいですか。 <p>◇努力を続けることは、難しい。</p> <p>②松本清記さんを紹介します。</p>	<p>○事前アンケートの結果から気付きを出させる。</p> <p>○努力を続けていくことは難しいという思いを共有しておく。</p> <p>○松本清記の写真、様々な灯籠の写真や実物を見せ、興味関心を高めさせる。</p> <p>○清記が灯籠を奉納し続けたことで、今も途絶えることなく続けていることを話しておく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【学習課題】 夢や目標に向かって、努力を続けていくためには・・・</p> </div>			
展開	15分	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>①松本清記さんの子どもの頃や功績をふり返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇折り紙が好き。器用だった。 ◇見よう見まねで、20歳で初めて自分の力で金灯籠を作り上げた。21歳で灯籠師になり、29歳で「熊本城全景」の灯籠を制作した。 ◇後継者の育成にも力を入れた。 ◇終戦の日、たった一基の灯籠を奉納した。 <p>②清記さんは、くじけることはなかったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇教えてもらえないから、見るだけでは分からない。 ◇覚えるのに、時間がかかる。 ◇道具の使い方も分からない。 ◇何年もかかっている。こんなに長い期間、続けることは簡単なことではない、難しい。 ◇戦争で、作り続けることも難しくなってきた。 	<p>○清記がどんな思いで灯籠を作り続けたのかを考えながら話を聞くように、視点を事前に伝える。</p> <p>○清記の特徴や功績にふれる。</p> <p>○板書を工夫して、紆余曲折しながら夢に向かって進んでいったことを視覚的に捉えやすいようにする。</p> <p>○長い年月をかけてやっと一人前の灯籠師になり、後継者を育てるまでになったことに触れる。</p>
	10分	<p>【中心発問】</p> <p>③清記さんは、様々な困難を、なぜ乗り越えることができたのでしょうか。 ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇作るのが好きだったから。 ◇作ることにやりがいを感じていたから。 ◇みんなに灯籠の良さを伝えたかったから。 ◇灯籠を見て、喜んでくれる人がいるから。 ◇この戦争で暗い世の中を、明るくしたいから。 ◇自分にはできるという自信があったから。 <p>④今の灯籠師の方から、メッセージがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇清記さんのおかげで、今も続けているんだな。 ◇今も昔も、重なる思いがあるんだな。 	<p>○「でも、だってトーク」をして、「簡単に灯籠師になれたのでは？」の問いに対して、清記の人生における苦勞、思いを出させる。</p> <p>○「やめようと思ったことはなかったか」「見て学ぶだけで、教えてもらえないのは、どんな思いだったか」など、清記のくじけそうになった思い、もやもやや、きつさ、困難を引き出す。</p> <p>○多面的・多角的に考えたり人間の弱さ（人間理解）を感じたりできるように、児童の発言内容を受けて問い返しや補助発問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だったら、戦時中に自分一人でも作り続けられますか。（ゆきぶりの発問） <p>○乗り越えることができた理由として、「向上心、喜び、自信、あこがれ」など。</p> <p>○人間のくじけそうになる弱い心も、自分自身の心で乗り越えてきた清記の強さや、乗り越えていくために目標や希望を持ち続けることの大切さに気付かせる。</p> <p>（個に応じた支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートの吹き出しに、乗り越えられた理由やその時の清記の思いを書かせる。 ○友達との交流の場面では、考えを深めることができるように、対話ツールを活用する。 ○灯籠師からのメッセージには、清記への感謝の思いや5年生への応援の言葉を残してもらおう。
終末	15分	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>①今日の学習を振り返りましょう。 ワークシート2</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自分もバレーをやっていて、難しいこともあったけど、勝ちたいから頑張っていきたい。 ◇何事も努力することが大切で、努力し続けることで得られるものがあることが分かった。 ◇自分も、夢があるので、やり抜くぞという思いをしっかりとって、努力していきたい。 <p>②メッセージを紹介します。</p>	<p>○これまでの児童の頑張りの様子を見せ、自分たちも日頃から努力していることを再確認するとともに、きつても頑張りが続くことで得られた達成感や充実感、満足感なども感じさせる。</p> <p>○今日の学習を通して考えたこと、友達のを聞いて思ったこと、これまでの自分やこれからの自分についてなど、視点を与えて振り返らせる。</p> <p>○アンケート結果にも触れ、自分たちの変容に気付かせる。</p>

【評価の視点1】 清記の目標をもって進んでいく姿や、どんな時も灯籠作りをやめなかった強い意志と信念を、多面的・多角的に考えている。（方法：発言・ワークシート）

【評価の視点2】 これまで自分が頑張ってきたことに気づき、次の目標に向かって努力しようという思いを高めている。（方法：発言・ワークシート）

【板書計画】

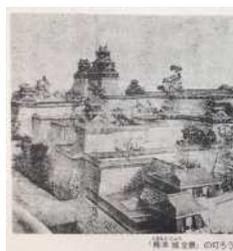


【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画

導入の場面【電子黒板】

松本清記の写真、山鹿灯籠の写真などを提示し、興味関心を高める。



終末の場面【電子黒板】

これまでの自分をふり振り返り、これからの目標に向かって努力していこうという意欲へつなげる。



(提示資料例)

「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」(イチローの言葉)

【イチローの写真】

